

令和7年度 第5回富津市学校運営協議会（青堀小学校）会議録（要旨）

令和8年1月20日（火）

8時45分より 会議室にて

○ 参加者（敬称略）

松井 小百合（学識経験者）、小泉 雅弘（区長会代表）、
平野 武（民生児童委員）、平野 恵子（主任児童委員）、
若月 忠光（青堀少年野球クラブ代表）、森 久典（PTA会長）、
河野 信成（本校校長）、佐藤紗都子（本校教務主任）
以上8名

○ 概要

（1）福祉標語審査

○4年生の作成した全106点の作品の中から、各学級5点ずつ優秀作品を選んだ。

（2）授業参観

○全学級の授業の様子を参観した。

（3）学校評価アンケートの結果について

ア 事務局より説明

・児童評価 →「友達を大切にしている（97%）」、「外で元気よく遊んでいる（80%）」の項目が高まった。

全体的に見ると、若干評価が下がっている。2学期の「中だるみ」傾向の表れか。3学期、もう一度自己評価を高められるように取り組みを進めていく。

・職員評価 →27項目中、23項目で、評価が上がった。肯定的な回答割合は86%。先生方の意欲は確実に高まっている。この結果を、子どもたちの成長へとしっかり繋げていきたい。

- ・保護者評価 →全項目を通して、肯定的な回答をした保護者の割合は、70%だった。数値が最も高かったのは、「たよりやHPで学校の様子を伝えている（89%）」だった。
数値が低かった項目は、「毎日家庭学習している（57%）」、「決まった手伝いをしている（50%）」だった。

イ 事務局の説明に対する質問や意見

- ・あいさつに関して、元気に挨拶してくれる子、声を掛けたら返ってくる子、全然しない子、それぞれ差がある。
 - ・あいさつをしても、知らんぷりの子がいる。気持ちよくあいさつを返してくれると嬉しい。
 - ・子どもからあいさつしてくれると、気持ちがよい。
- ☆アンケート項目には、家庭で取り組むべきものも多く含まれている。今後とも学校と家庭、地域とが連携して子どもたちの育成に関わっていく。

ウ 満場一致で承認

(4) 意見交換

- ・下校の際に、国道を歩いている児童がいる。危ないのではないか。
→ 通学路については、もう一度子どもたちに確認する。
- ・授業の際に、先生の方を向いていない子がいた。算数障害と思われる児童には、「5になるじゃんけん」をするとよい。
→ 参考にする。
- ・学校では学習するが、家では宿題がないとやらない。読書もしていない。
→ 読書も含め、毎日宿題を出せるようにしていく。
- ・子どもたちは、タブレットの学習を楽しみにしている。
- ・子どもたちは家に帰ってから、ずっとスマホを観ている。ルール作りが大事。
→ 学校でも、スマホの使い方については指導していく。

(5) 第6回学校運営協議会の開催について

期日：2月16日（月） 会場：管理棟2階 会議室

内容：・学校関係者評価について
・活動のまとめ、次年度に向けて